

【添付書類①】（日本NGO連携無償資金協力完了報告書）

事業内容、事業の効果に関する写真

① 生徒（トレーナー）のトレーニングと保健委員会の設立・活性化



保健委員会を設立し、トレーニングを実施し、定期的に活動をフォローアップしています。

② 学校教師に対する健康教育に関するトレーニング



教師のトレーニングでは、救急法や学校環境等に関するセッションを行い、教師たちが責任を持って生徒たちの健康を守るように指導しています。定期的に教師の活動をフォローアップしています。

③ 学校に対する健康に良い環境づくりの指導



学校環境のモニタリングを行い、学期を通じて教師・生徒の活動について指導することで、健康に良い学校環境づくりを進めています。

④ 学校生徒・幼稚園児に対する健康診断の実施とフォローアップ体制の指導



学校と幼稚園で健康診断を実施し、発見されたケースを専門医に紹介し、学校と親にそのフォローアップを促す活動を行っています。(写真：難民キャンプの幼稚園での健康診断の様子)。

④ 学校生徒、幼稚園児、その母親たちに対する健康教育

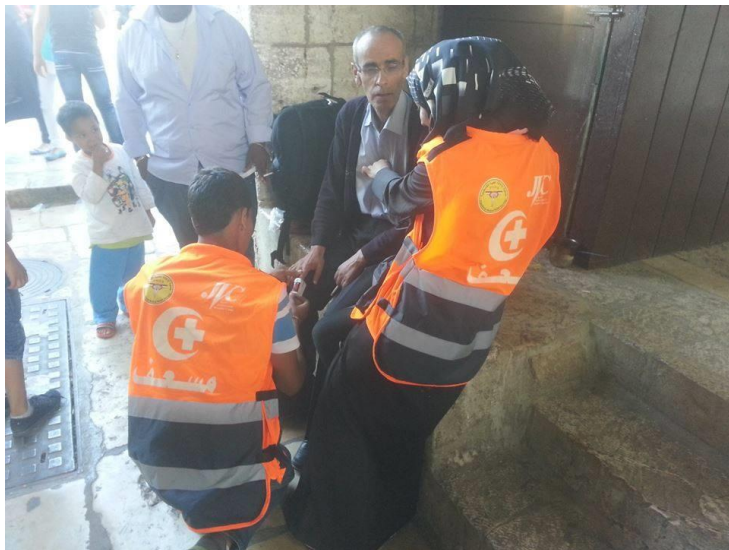


小・中学生に対する健康教育では、例えば、血圧や血糖値の測り方を教えることで、体や病気に対する関心を高めるように努めています。



幼稚園児に対する健康教育では、例えば、歯磨きの大切さと正しい方法を教えています。東エルサレムでは、虫歯の治療費が高額なため、深刻な問題となるケースが後を絶たないためです。

⑤ 地域の青年に対する救急法トレーニングと、救急委員会の設立



救急法トレーニングを学んだ青年たちは、エルサレム各地で、ボランティアとして病人や負傷者への救急処置を担うようになりました。(写真は、旧市街で礼拝後に具合が悪くなった住民の診断をするボランティアのメンバー)。

⑥ 地域住民に対する健康教育と健康診断の実施



違法なイスラエル入植地と分離壁によって孤立し、医療サービスへのアクセスが困難な地域で、巡回診療を実施しました。また、子どものサマーキャンプでも、健康に対する意識の向上を促す活動を行いました(写真は、巡回診療の様子)。